

めざす子ども像

自信をもち何事にも挑戦する園児・児童・生徒の育成

取組目標

地域力によって育成する心豊かな子ども**【今年度の取組紹介】**

今年度から、本校区に奈良高校が移転しました。今まで本協議会と平城高校は、「平城高校生と遊ぼう」を北部会館で行っていました。それを継承し、奈良高校と本協議会で奈良高校を会場に開催しました。名前は、校区内のこども園、小学校、中学校、奈良高校に広く募集し、その結果、「わくわくフェスティバル in 奈高」となり、当日まで何度も奈良高校と打ち合わせを重ね準備を進めました。1月22日当日は、体育館の舞台や各教室、運動場、テニスコートを使って24の中学校や高校の部活動、生徒会、各小学校の放課後子ども教室、地域の教室が参加しました。様々な体験ブースがあり、幅広い年齢層が楽しいひと時を過ごしました。校区内の中学生も100名を超える参加があり、先輩である高校生の活動を見てとても良い刺激になりました。来場者は、校区内外含め約1,700名となり、非常に大盛況でした。

**【今年度のまとめ】**

上述のわくわくフェスティバル in 奈高のほかに歴史ウォークも久しぶりに開催できました。当日、ボランティアガイドさんが参加できなくなるというアクシデントに見舞われましたが、地域の方のご厚意でガイドブックを作成しました。当日ガイドブックを見ながら地域の方からの案内も聞くという、とても贅沢な内容になりました。当日晴天にも恵まれ、参加者は170人で例年になく大人数の参加となり、地域の方々も活動を待ちわびていたように思いました。また、図書室開放も欠かさず行い、今年度も地域に愛される図書室を目指しボランティアさんを中心に活動を行うことができました。

【来年度に向けて】

今年度、場所も新たに開催しました「わくわくフェスティバル in 奈高」ですが、今年度の経験を糧に来年度はさらにパワーアップした内容で開催できればと考えています。また他の2つの活動も無事に再開できました。今後も地域の方と共にすすめていきたいと考えます。

めざす子ども像 **自信をもち何事にも挑戦する園児・児童・生徒の育成****取組目標** **知ろう、地域のすばらしさ！本物に触れる感動を子どもたちに！****【今年度の取組紹介】**

今年度は、中学2年生を対象に、地域の方々をゲストティーチャーに招いて『平城東愛♥再発見！～ゲームでまちのお宝探し』を行いました。このゲームは、地域の「きいて」という声に、地域にある「お宝」を組み合わせて「おせっかい」をするカードゲームです。「きいてカード」には地域の方々のつぶやきや悩みが書かれており、「お宝カード」には、まちにある様々な場所や人、店などが書かれています。5人程度のグループに分かれ、「きいてカード」を真ん中に置き、「お宝カード」を組み合わせて「おせっかい」を1人ずつ言っていく、最後にみんなで「ベストオブおせっかい」を選びました。子どもたちは、今まで当たり前と思っていたこの環境がいかに大切なのか改めて気づく良い機会でしたと感想を述べています。

また地域の方々に本校へ足を運んでもらい、子どもたちと一緒に時間を共有することができた貴重な体験でした。今年度初めての取組でしたが、来年度、再来年度と続けていき、いつか子どもたちがこの地域を自慢できるような大人になればと思います。

**【今年度のまとめ】**

新型コロナウイルス感染症の影響で昨年、一昨年度と思うように活動できませんでしたが、昨年度まで活動を自粛していた命の学習は無事に行うことができました。また、世界遺産学習の筆作りや墨作り、高齢者福祉体験も昨年度から引き続き行うことができました。新たな取組として、上述の地域のお宝探しゲーム、SNSの扱い方などをゲストティーチャーにきてもらいました。子どもたちは、いつもと違う方が先生となり、普段とは違う話をしてくれることに大変興味を持っていました。今後も既存の活動だけでなく、今、子どもたちに必要な内容を地域の方々に協力してもらい取り組んでいきたいと考えます。

【来年度に向けて】

今年度新たに始めた取組については、引き続き来年度も行いたいと考えています。そのため、全ての職員と地域の人たちが気軽にそして十分に話ができるような機会を設けたいと考えます。

めざす子ども像

自信をもち何事にも挑戦する園児・児童・生徒の育成

取組目標

地域とのつながりを意識できる学習環境整備に取り組みながら、子どもたちに地域とのつながりを感じられる取組の充実**【今年度の取組紹介】****(1) 学習支援事業「茶道を体験しよう」**

「茶道を体験しよう」では放課後子ども教室で「お茶」の指導をしていただいている先生に来ていただき、お茶をたてる体験活動をしました。初めてお茶を体験する子や今までに経験した子もあり「茶筥を使ってお茶をたてるのは楽しい。」「少し苦かったけれどおいしかった。」と笑顔で子ども達は答えてくれました。

(2) 学習支援事業「車椅子体験活動」

12月6日の日に体育館で車椅子体験活動を行いました。地域の福祉協議会の方達のご協力により車椅子を借りることができ、実施しました。子ども達は交代で車椅子に乗る人、車椅子を押す人になり、体育館でマットや長机を使って通路を作り、そこを通る体験をしました。マットの上を通るときは押す人は力を出さないと車椅子を押すことができず、車椅子に乗っている人も「バランスを取りながら乗るのはむずかしい。」と感想を話してくれました。

**【今年度のまとめ】**

今年度はコロナ禍になってから3年目になり、少しずついろいろな活動を再開することができるようになりました。茶道の体験活動も昨年度ではできなかったものですが、感染対策を行いながら実施することができました。いろいろな事業で子ども達の楽しそうに活動をしている姿を見ることができました。

また、環境整備事業では、図書ボランティアの方々が頻繁に来校され図書室の本の整理や修理を行っていただきました。いつも子ども達は気持ちよく図書室で読書をする事ができる環境にあります。

【来年度に向けて】

さまざまな事業に地域の方にご協力いただいで子ども達が学習することができていることに感謝をし、地域の一員であることを意識してこの朱雀地区に愛着を持つことができるような取組を進めていきたいです。

めざす子ども像

自信をもち何事にも挑戦する園児・児童・生徒の育成

取組目標

学校・家庭・地域が一体となって子どもの教育にあたり、子どもたちが感動するような体験活動を通じた魅力あふれる取組の継続と地域人材の活用・発掘

【今年度の取組】・・・古代米『さよむらさき』栽培体験

6月、蒔たすきをまいた5年生25名が歌う田植え歌が田んぼに響き渡りました。

本校は毎年『奈良・人と自然の会』の地域の皆さんに協力いただきながら水稻栽培体験を実施しています。今回で14回目となりました。

6月の田植えでは事前学習として古代米『さよむらさき』についての歴史や米の栽培の仕方などを教えていただきました。田植え当日は泥の中に素足で入り、子どもたちは今まで体験したことのない感触に驚いていました。最初は恐る恐る植えていましたが、徐々にコツをつかんでスムーズに植えることができました。

10月には立派な稲穂が実り、稲刈りの季節となりました。秋晴れのもと、せっせと鎌を使って刈り取り作業をしていく子どもたちは6月の田植えの時よりも頼もしく、稲の成長とともに子どもたちの成長も感じることができました。地域方へのお礼の気持ちを込めて、田んぼを囲みながらソーランお披露し、地域の皆さんに喜んでいただきました。11月には5年生が刈り取った「さよむらさき」を給食で出していただきました。地域の方もお招きして全校でおいしくいただきました。



【今年度のまとめ】

水稻栽培体験を通して、栽培することの苦労や収穫した時の達成感、米作りの歴史などを学ぶことができました。田植えから脱穀作業まですべて手作業でし、お米としてやっと手にしたときの感動と喜びは子どもたちの大切な心の糧となったことでしょう。地域の方々をはじめ、たくさんの方々を支えられて生活していることを実感できるよい機会となりました。

【来年度に向けて】

様々な取組は長期的な視野に立ち、事業を継続的に行うことにより大きな成果が得られると考えます。来年度も活動内容の工夫・精選を検討し、本事業を継続していきたいと考えております。

具体的には、佐保台小学校としての学校支援ボランティアの仕組みを定着させ、地域の方に教育活動に参画していただき、教職員と一緒に「チームとしての学校」を創り上げていきたいです。

めざす子ども像

自信をもち何事にも挑戦する園児・児童・生徒の育成

取組目標

子どもたちが地域を知り、地域の人達との繋がりを意識することで、豊かな感性や様々な知識・技術を身につけて成長していける取組の充実を目指す。

【今年度の取組紹介】

今年度も、昨年度に引き続き「防災学習」を4年生で実施しました。左京地区自治連合会・自主防災会にご協力をいただき、地域の自主防災会から2名の講師を招いて、地域における防災の取組について学習しました。

まず、教室で左京地区の取組についてお話を聞きました。地域で定期的に防災訓練が行われていることや、校庭に各自治会の防災倉庫が設置されていることを知りました。次に、運動場に設置されている奈良市の防災備蓄倉庫や各自治会の防災倉庫を実際に見学しました。防災倉庫の中には、非常食や毛布など様々なものが備えてあることを知りました。

今回の学習を通して、子どもたちは自分たちの住む左京でも災害に備えていることを知り、実感をもって防災について考えることができました。

**【今年度のまとめ】**

今年度も新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため様々な制約がありましたが、昨年度に続いて様々な学びの機会を設けることができました。5年生では弁護士の先生を講師に招いた「いじめ防止教室」、6年生では本物のアーティストを招き英語でのコミュニケーションで協働する「英語でアート」、被爆体験された方から直接お話を聞いて平和について考える「被爆体験のお話」など、どの機会も直接お話を聞いたり体験したりすることを通じた貴重な学びの機会となりました。

また地域にある左京の森での「花の苗植え」では、今年度もグリーンサポートクラブのみなさんに協力をいただき、3年生が地域のみなさんと花を植えたり育てたりすることができました。

【来年度に向けて】

近年子どもたちの学ぶ環境が変わり、タブレット端末を使用して子どもたちは好きな時に好きな事柄を調べたり学んだりすることができます。しかしながら、直接見聞きしたことや教わったこと、体験することは子どもたちにとって「生きた学び」となります。今後もこの取組を続けることで子どもたちに豊かな体験機会を設け、豊かな感性や様々な知識・技術を身につけさせていきたいと考えています。

めざす子ども像 **自信をもち何事にも挑戦する園児・児童・生徒の育成****取組目標** **地域と方と連携しながら、子どもたちが心豊かに
生き生きと活動できる子どもを育てる****【今年度の取組紹介】**

・左京の森でのさつまいも栽培

今年度も左京グリーンサポートの皆さんのお力をお借りし、左京の森でさつまいもの苗植えから収穫までの貴重な体験をさせていただきました。

子ども達は地域の方から植え方の説明を聞き、苗を優しく扱いながら植えることができました。楽しみにしていた収穫の日、地域の方に手伝ってもらいながら、つるをひっぱったり土を掘ったりして出てきたさつまいもの大きさに、子ども達はびっくりし歓声をあげていました。この地域の方との栽培活動を通して、野菜に興味や関心をもち、不思議に思ったり感動したりする心が育ちました。また、調理や食べる喜びを味わうこともできました。地域の方が共に活動してくださり、常に見守りお世話してくださることに親しみを感じると共に感謝の気持ちをもつことができました。



・お話しの日

地域の読み聞かせのボランティアの皆さんのご協力により、お話しの日を毎月実施することができました。子ども達がお話に興味をもつように、年齢や季節に応じた絵本を用意していただいています。子ども達はお話が好きになり落ち着いて聞く力も育ってきています。絵本を通して、様々な感情が芽生え、感性の豊かさが育ってきていると感じています。

**【今年度のまとめ】**

- ・地域の方に関わっていただきながら、さつまいもの栽培体験や絵本の読み聞かせなどを、継続して行うことができました。地域の方の温かさや優しさにふれ、情緒面の育ちにつながってきています。
- ・おもしろ理科実験や体操教室・生け花体験などは、専門性に触れる機会となり、興味や好奇心が深まり、意欲向上や自信につながってきていると感じます。
- ・地域の方から、子どもの姿をみて元気旺盛で純粋な好奇心・探求心に無限の可能性を感じるとの声を聞かせてもらいました。

【来年度に向けて】

- ・継続して地域の方々と関わることで、園児の経験や体験を広げることができ、親しみも深まっていくので、来年度も継続して事業を進めていきたいと考えています。
- ・地域の教育力を最大限に活かせるように情報収集に努め、無理のないよう保育に取り入れながら、園児の豊かな経験につながるようにし、地域に根差したこども園を目指していきたいと思います。

めざす子ども像

自信をもち何事にも挑戦する園児・児童・生徒の育成

取組目標

地域の方との連携を図り、子どもたちが様々な人との触れ合いを楽しんだり、体験に参加する楽しさを味わったりする中で、豊かな心を育む。

【今年度の取組紹介】

<女性防災クラブの方による防災紙芝居・消火訓練>

朱雀地域の女性防災クラブの方に紙芝居とペープサートを使って防災のお話をしていただきました。その後、避難訓練を行い、水消火器を使った消火訓練も教えていただきました。

子ども達は保育者が消火する様子を真剣に見ていました。安全に過ごせることの大切さを感じた一日となりました。

<朱雀お話の会>

一年を通して朱雀お話の会の方に絵本の読み聞かせをしていただいています。子ども達は、「今日は何のお話かな」「(腹話術の)けんちゃん、来てくれるかな」と毎回楽しみにしています。朱雀お話の会の方からは「子ども達が目を輝かせて話を一生懸命に聞いてくれ、私達も元気をもらっています」と声をかけていただきました。たくさんの絵本に親しみ、お話の世界から好奇心を刺激し、想像力や感情を豊かに育てています。



<おもしろ不思議理科実験>

地域で活動されている『平城ニュータウン楽しい理科実験研究会』の方にお越しいただき、実験を通して「科学の不思議」に触れる活動を行いました。ホーバークラフトや大空気砲では、空気力を学びました。5歳児は、タコ糸と厚紙、ストローを使って、木登りカブトムシを制作させていただきました。糸を左右に引っ張ると上に上っていく様子に「何でかな?」「次こうするとどうなるんだろう」と興味をもち様々なことへの関心を深めることにつながっています。



【今年度のまとめ】

コロナ禍での事業となりましたが、子ども達が様々なことに出会い、体験し、豊かな感性が育つようにと願い取り組んできました。地域の方の大きなサポートがあり、人とのふれあいや体験を通して子ども達が意欲的に活動する姿につながったと感じています。また、ホームページやドキュメンテーションを通して活動内容や大切にしていることを発信することで、地域と保護者に取組を広めることができました。

【来年度に向けて】

菜園活動をする中で、大切に育て生長を楽しみにする心や、様々な不思議や発見との出会いができるように地域の方と相談しながら計画していきたいです。また、絵本にたくさんふれ豊かな感性を育てるように更に地域の方と一緒に進めていきたいと思っています。